

ナマステ

特定非営利活動法人
自然文化誌研究会 会報誌



120 号

2015 年 5 月 20 日発行号

←植物と人々の博物館ロゴマーク。

春の活動も無事に終わることができました～。今回より「藤野便り」を新連載します！！

活動報告

その1 冒険学校「むらまつりキャンプ」 5.3～5.5(2泊3日)

今年も、小菅村の「第 28 回多摩源流まつり」に合わせて開催しました。参加者、スタッフ総勢 50 名を超える賑やかさでの開催となりました！！



初日は、キャンプ場に到着して、テントを立ててから早速の川遊び、まだ水温は 15℃前後ですが、五右衛門風呂で温まりながら再び川へ！！夕方は明日のお祭りの仕込みで、たくさんのヤマメを捌いたりしました。

2 日目は「第 28 回多摩源流まつり」。夜の部のお松焼きと花火もすごかったね～！！

最終日は、小菅の湯に一番風呂をして、小永田地区の神代神楽を見に行きました（写真左）。加藤翔くんと地元の方が、神楽の解説もしてくれました！！

その2 のびと講座「野草の天ぷらとお茶つみの会」 4.29

毎年恒例の「野草の天ぷらとお茶つみの会」を開催しました。当日は 60 名の方が参加。宮本透さんの指導の下、まずはお茶つみ。茶葉は合計で 2.9kg 集まりました。そしてお茶もみをしながら、樹木医の岩谷美苗さんによる野草の採取。採取した野草は天ぷらにして昼食となりました。今年のお茶は上等な物ができました！！



宮本透さんを講師にお茶づくり



岩谷美苗さんを講師に野草の採取



今年のお茶は素晴らしい出来でした！！

活動案内

その1 「タイ環境学習キャンプ」

8.8~8.17(9泊10日)

今回も首都バンコクから車で数時間、ウタイタニー県バンライ郊外の「パンダキャンプ」を拠点に活動を展開します。毎年訪れているファイカケン野生動物保護区は世界遺産であり、観光客はもとより、地元の方でも許可がなければ入れません。貴重な動物を見て、密猟者から保護区を守るレンジャーからの話あります。



少数民族のカレン族の集落訪問、伝統工芸品の製作など体験内容を充実させています。恒例の現地教員とのワークショップも好評となっています。高層ビルの立ち並ぶバンコクと少数民族が暮らす亜熱帯の森に皆さんは何を感じるでしょうか？通訳、ガイドも同行し、

現地のラジャバト大学との連携もありますので安心してご参加くださいませ！！



日程：8/8（土）～17日（月）

対象：高校生～一般（中学生以下は要相談）

参加費：会員 150,000 円 非会員 160,000 円

※航空券と現地での費用が含まれています。

申込み：6月19日（金）締め切りですが、航空券の手配がありますので、まずは事務局までご連絡ください。また、パスポートを持っていない方は、急ぎ用意する必要があります。出発前に事前に参加者ミーティングも行いますのでご安心を！

日時	活動内容	備考
8月8日(土)	成田→バンコク	グランドビューホテル泊(ラジャバト大学内)
8月9日(日)	バンコク→バンライ	パンダキャンプ泊
	・サム・チュク古市場 ・歓迎会	
8月10日(月)	バンライ→ファイカケン野生動物保護区	ファイカケン野生動物保護区ゲストハウス泊
	・野生動物観察 ・バードウォッチング	
8月11日(火)	バンライ→ファイカケン野生動物保護区	ファイカケン野生動物保護区ゲストハウス泊
	・野生動物観察 ・バードウォッチング	・レンジャーとの交流
8月12日(水)	ファイカケン野生動物保護区→バンライ	パンダキャンプ泊
	・バードウォッチング ・少数民族の学校訪問	・カレン、ラオ族の集落訪問(竹工芸品制作体験)
8月13日(木)	バンライ(パンダキャンプ)	パンダキャンプ泊
	・ティーチャーワークショップ ・タイマッサージ	
8月14日(金)	バンライ→バンコク	グランドビューホテル泊(ラジャバト大学内)
	・ラジャバト大学環境施設見学	
8月15日(土)	バンライ→バンコク	グランドビューホテル泊(ラジャバト大学内)
	・ラジャバト大学交流会 ・バンコク市内観光	
8月16日(日)	バンコク市内	グランドビューホテル泊(ラジャバト大学内)
8月17日(月)	バンコク→成田	

※日程表は例年のものです。プログラムは毎年変化していますので二度目の参加でも飽きませんよ～。

活動内容については、現地と調整中です。早く知りたい！という方は、事務局までお問合せください～。

その2 冒険学校「こすげ冒険学校」

7.30~8.5(6泊7日)

小菅村の自然と文化を満喫しながら過ごす 6 泊 7 日の長期キャンプです。川遊びでは飛び込んだり、魚がいっぱいいる淵で泳いだり、魚を捕ったり、思う存分に遊び続けよう！！寒くないように焚き火をしながら、お風呂も沸かしておこう。毎晩星を眺めながら眠になったら寝てしまおう！！一緒に山の中や村の暮らしを探検してみよう～！！7 日間遊び続けて、みんなで楽しいキャンプをしましょう～！



毎年恒例のカジカ捕り！

日程：7月30日（木）～8月5日（水）6泊7日

場所：小菅村のいつものキャンプ場

宿泊：テント・ログハウス・野宿などで寝袋

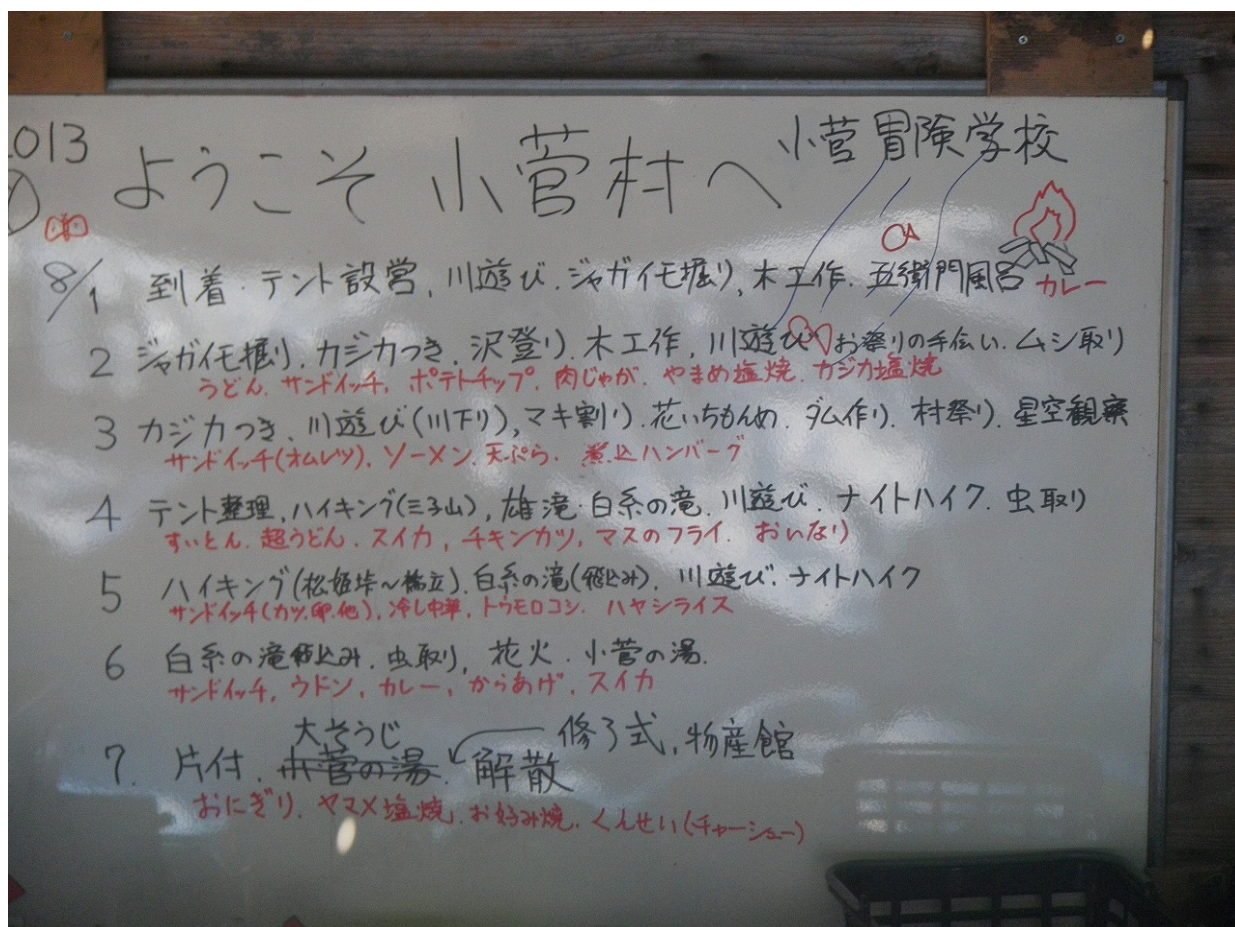


去年はそば打ちとこんにゃく作りもしました！！

対象：小学校3年生～中学校3年生 20名

参加費：会員：¥27,000 非会員：¥29,000

申込み：7月10日（金）まで、先着順です。



一昨年のプログラムです！！今年はどんなプログラムになるか、楽しみですわ！？

その3 冒険学校「やまめキャンプ」「いwanaキャンプ」 8.8~8.10

「小菅村をぜひ体験してみませんか？」1泊2日のキャンプをしながら、小菅村の自然と文化を感じるキャンプを行います。親子での参加が可能なキャンプです。大人の方もお子さまと一緒に、小菅村の自然や文化に触れてみませんか？ 一緒にキャンプをしながら、野外で食事をつくり、思いっきり遊びながらテントで休めます。「自然」という名の遊び場は最高ですよ。今年も「やまめキャンプ」「いwanaキャンプ」と連続して行います。連続で参加して2泊3日のキャンプにすることも可能ですよ〜！！

「やまめキャンプ」：8/8~9 1泊2日 「いwanaキャンプ」：8/9~10 1泊2日

※連続での2泊3日OKでゆっくり過ごすこともできます！

場 所：小菅村のいつものキャンプ場

宿 泊：テント・ログハウス・野宿など

対 象：小学校3年生以上は子どものみの参加可能。20名

申込み：7月10日（金）まで、先着順です。

参加費：1泊2日親子での参加：20,000円（会員）

※ 連続参加、子どものみの参加は割引します。



川遊びと五右衛門風呂！！



一昨年は「手づかみ漁」もやりました！

参加の申込は事務局まで、E-mail かハガキで、氏名（ふりがな）、住所、電話番号、年齢（学年）をご記入の上、お気軽にお申しください。お待ちしております〜♪

その4 のびと講座「源流での登山道整備」 7.24~26(2泊3日)

甲武信ヶ岳は、山梨県・埼玉県・長野県の分水嶺となっており、荒川・千曲川・笛吹川の3つの河川の水源地です。ここから流れる水を飲み水、生活用水として利用しています。私たちの生活にかかわりの深い上流で、本当に美味しい源流の水を味わいながら、登山道での草刈り、整備を行い、一緒に汗をかきませんか？

甲武信小屋のご主人・山中徳治さんのお話を交えて、源流と流域のつながりを身をもって感じる講座です。

体力があまりないのでちょっと自信が・・・という方でも、自分のペースで活動できますよ。。



やることはいっぱいあります。

日 程：7月24日（金）~26（日）2泊3日

場 所：甲武信ヶ岳と甲武信小屋の登山道

宿 泊：甲武信小屋（山小屋に泊まります！）

参加費：会員：¥15,000 程（宿泊費・交通費・保険代など）

対 象：高校生~一般 15名（中学生以下は要相談）

申込み：7月10日（金）まで、先着順です。

その5 「INCH 祭り」～「INCH ライズ 2015」と「のびと講座きのかき」 「キャンプ」で楽しくやっちゃいましょう！！ 10.11～12(1泊か日帰り)

秋の一大イベント「INCH 祭り」を開催します！ログハウスのあるキャンプ場で、「INCH ライズ」と「のびと講座 きのかき」を開催し、秋の味覚を堪能しながら楽しい時を過ごしましょう！



本会代表理事中込卓男のバンド「チョークス」、キャンプで村長を務める本会理事の鈴木英雄によるワンマンショー、小菅村民による笛の共演、よいしょバンドなどなど、まだ調整中ですが、多くの皆さまにご参加いただく予定です。



普段会えないみなさま、キャンプでしか会えないみなさま、ライブをBGMIに、のんびりとお酒、お茶でも飲みながら過ごしませんか！！音楽を愛する方は楽器持参で、腕に自信のある方もない方もぜひぜひお越しください♪

きのこに興味のある方は、一緒に山に入ってきのこを探りに行きましょう！！



← 野外でバーも開催！

■日程 10 月 11 日(日)～12 日(月) 日帰りも OK です。

13:00 頃から開演 「まじめなアコースティックコンサート」

※一流のバーテンダーにも来てもらいます！！

■会場：山梨県小菅村いつものキャンプ場

■参加費：※非会員の方はこの機会にぜひ会員に！

ライブのみの参加 会員 1,000 円（中学生以下無料）

きのかき採りをされる方 会員 3,000 円

泊まりの方 1泊 1,500 円(ログハウスかテントで寝袋)

■交通機関

※小菅村までの交通は自力になりますので、よろしくお願いします。バスの時間などはご相談ください。

■お申し込み：ライブの当日参加は OK ですが、きのかき採りに参加される方は保険に加入しますので、9 月 28 日(月)までにお申し込みください。



その6 劇団 鮭スペアレ 小菅村公演 ロミオとチュリエット 6/6

案内を挟んでありますが、6 月 6 日に劇団「鮭スペアレ」による公演を小菅村で開催します。ぜひお越しください！！生演奏による「ロミオとチュリエット」ですよ！！

申し込みは不要です。不明な点は事務局までお気軽にお問合せください。泊まる方はいつものキャンプ場にどうぞ～（一人 1,000 円）！！

その 1 自然文化誌研究会冒険探検部40周年記念企画

「第35回環境学習セミナー～環境学習の源流から未来へ」

歴史を遡ってみます。約 40 年前、1975 年に東京学芸大学内で創設された「自然文化誌研究会（学大探検部）」と、1981 年に創設された「東京学芸大学冒険探検部」は、1985 年に合併し、「自然文化誌研究会冒険探検部」となりました。その後、五日市や大滝村を経て、2004 年に「NPO 法人自然文化誌研究会」として NPO 法人となり、山梨県小菅村に拠点をもち、現在に至ります。

その間に、現役学生を中心とした学大冒険探検部は継続し、子どものための冒険学校～ぬくい少年少女農学校を経て「サークルちえのわ」も誕生しました。

ここで 40 周年記念企画ということで、「環境学習の源流から未来へ」を副題とし、40 年間の軌跡をたどっていきたいと思います。懐かしさも交えながら、ぜひご参加ください。

『第 35 回環境学習セミナー』

～環境学習の源流から未来へ～

※日程と場所は確定。内容はたまかな予定です（現在も検討中です）！！

【プログラム】

2015 年 10 月 10 日（土） 会場は「植物と人々の博物館」（小菅村中央公民館）

12:30～ 受け付け開始

13:00～ **「第一部 源流を探る・ふりかえる」** 司会進行：中込卓男

探検部草創期 中込卓男・柴田一ほか

五日市時代 佐藤雅彦ほか

大滝時代 小川泰彦ほか

タイのこと 中込貴芳ほか

農学校開始 西村俊・菱井優介ほか

小菅村へ 阿部礼恵・黒澤友彦ほか

現在の学生たち 冒険探検部、サークルちえのわの学生ほか

16:00～ **「第二部 どのような未来へ行くか？」** 司会進行：中込貴芳

基調講演 亀井雄次（小菅村商工会・本会理事）

ワークショップを行うかも・・・。

その他、木俣美樹男・塚原東吾さんなどが講演

19:00～ 朝まで宴会（今のところ、小菅村内のキャンプ場）

10 月 11 日（日）小菅村がはじめての人は、本会のサテライトをご案内します。

そのまま、10/11-12 の日程で「INCH ライブ」を開始します（2 泊 3 日でいかがでしょうか？）

40 周年記念なので、皆さんぜひ日程を空けておいてください～！！

※次号の会報ナマステで詳細をご案内します！！



冒険王 vol.11 完成！！

その 8 「第 36 回環境学習セミナー～小菅村の明日を探る」

引き続き、11 月に「第 36 回環境学習セミナー」を開催します。現在、人口 700 人強の小菅村では以前から多く村づくりの取組みがなされています。村のあり方を多方面から探っていく環境学習セミナーです。

第 36 回環境学習セミナー

『明日の小菅村を探る』

源流の郷・エコミュージアム・トランジションタウン・美しい村連合・地方消滅論の再検討から

※日程と場所は確定。内容はたまかな予定です（現在も検討中です）！！

【プログラム】

11 月 14 日（土）

昼の部～会場は小菅村役場新庁舎を予定

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| 12:30～ | 受け付け開始 小菅村役場新庁舎（※村で唯一の信号の場所です。） |
| 13:00～13:20 | 趣旨案内と挨拶 司会進行：青柳諭（ミューゼス研究会代表） |
| 13:20～13:50 | 事例報告① 源流の郷小菅村（舩木直美小菅村長 or 佐藤英敏教育長） |
| 13:50～14:20 | 事例報告② トランジションタウンジャパンより |
| 14:20～14:30 | 休憩 |
| 14:30～15:00 | 事例報告③ 美しい村連合（杉一浩氏） |
| 15:00～15:30 | 事例報告④ 地方消滅論を再検討（首都大学准教授 山下祐介氏） |
| 15:30～15:40 | 休憩 |
| 15:40～16:30 | 質疑応答など |
| 16:30～16:45 | 講評 木俣美樹男氏（植物と人々の博物館研究員） |

休憩・・・それぞれ、宿や小菅の湯で入浴

夜の部～会場は小菅村中央公民館＝植物と人々の博物館、博物館の解説・案内はこの時に。

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 18:30～20:30 | 懇親会（立食・乾杯はピーボで、宿には R & B で） |
| 21:00 | 終了・解散 |

11 月 15 日（日）

トレイルマップがあるので、希望者は各自で散策が可能。

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 9:00～ | 集合・説明（参加者数によっては宿で OK） |
| 9:30～11:30 | 体験へ出発（参加者数でコースを設置。2 コース前後） |
| | コース① こんにゃづくり体験（橋立地区：木下新造さん） |
| | コース② 検討中 |
| 11:30 | そのまま集合せずに解散。昼食は各自（アナウンスは行う） |

※次号の会報ナマステで詳細をご案内します！！

『藤農便り』 第 1 号

農業生産法人 藤野倶楽部 宮本 透（自然文化誌研究会 監事）

東日本大震災から 4 年目の 3 月 11 日、生まれてから 57 年間住み慣れた湘南の街藤沢から神奈川と山梨の県境の町旧津久井郡藤野（相模原市緑区）に引っ越しました。都会でしか生活したことのない私にとって藤野での山暮らしは戸惑うこともあります。豊かな自然環境と人間関係のおかげで久しぶりに前向きの生き方ができるようになりました。藤野での新しい仕事や出会いをお伝えしていきますのでお付き合いください。

・貧困生活 2013 年 3 月教員免許状を失効して失職、27 年間の教員生活に終止符を打ちました。高校 3 年の担任だったので 2～3 月は進路の決まらない生徒の指導をしながらハローワークに通いましたが、希望した農業関係の仕事は神奈川県内にはほとんどありません。紹介されたのは週 4 日勤務の植物園のパート技能員でした。この年の夏、遊びに来た卒業生たちと食事をした時、彼らの給料の話を聞いて思わず叫んでしまいました。「君たち、私よりも高給取りなのに私におごらせるのかよ！」と。日本の非正規雇用労働者が強いられている格差社会の厳しさを改めて知る出来事でした。

現金収入は激減しましたが、週 4 日 8 時間労働以外の時間は自由になりました。また、県教委・管理職の理不尽な指導や自己中でわがままな生徒と接することがなくなったことでストレスからも解放され、心身の健康を取り戻しました。農業高校に勤めながらなかなかできなかった畑仕事をやるために、平塚で農業をしている猪俣さんの畑へ週 1 回援農ボランティアに通い、ちえのわ農学校のスタッフになりました。INCH の HP に「農場でキビ、大豆の栽培を始める（1984）」とありますが、その当事者として娘や息子よりも若い後輩たちと再び学大の農場を耕せようになったことはとても幸せです。

猪俣さんやちえのわの後輩たちとの付き合いは、「農業に仕事にしたい」という気持ちを確固たる物にしてくれ、転職活動のきっかけの一つになりました。

・藤野との出会い 中込メさんが卒業した後閉じてしまった自然文化誌研究会の部室を再び開けたメンバーの一人が成合君、彼は部室に「探検部頑張れ！」と書いた日の夜、交通事故にあって亡くなりました。1984 年 10 月 31 日のことでした。人一倍探検部に思い入れていた彼をしのび、命日近くの土曜日の夜、兄上の正和さんと草創期の仲間たちが菩提寺のある日暮里に集まり、墓参をした後「成合会」と称する同窓会を行っています。

30 回目の成合会、いつも大学院入試と重なって参加できなかった木俣さんが久しぶりに出席しました。「農業の仕事を探しているのですが、神奈川では見つからず地方に移住する

か迷っています」と話すと、「藤野に農業生産法人をしている知り合いがいるので紹介しましょうか」と相談に乗ってくれました。昨年 12 月農業生産法人藤野倶楽部を紹介され、トランジション藤野のワーキンググループお百姓クラブの会合に参加した時のことです。「木俣さんと藤野のつながりは何ですか？」と質問すると、「お百姓クラブの方たちが雑穀の種を求めて学大に来られた時、宮本君たちが秋山村（現上野原市）で採取したアワの種を提供したのがお付き合いの始まりですよ」と話してくれました。確かに 30 年前、木俣研のメンバーで秋山村を調査したことがありました。つるべ落としの秋の日、真っ暗な秋山村の山道を車で走っていた時のことを思い出し、縁とは不思議なものだと深く感じました。そして藤野で農業をする気持ちが固まりました。

・藤野の生活 4 月入社に向け 1 月下旬から週末は藤野で研修しましたが、温暖な湘南育ちの私にとって部屋の花瓶の水が凍る藤野の冬の寒さはこたえました。藤野倶楽部の仕事は学校とは別世界で、特に韓国料理のレストラン「百笑の台所」や古民家「無形の家」での接客は当初とまどいました。2011 年のアニメ「花咲くいろは」を思い出し、コミックを購入して勉強していますが、喜翠荘従業員のレベルになるには修行が必要です。

体を使う仕事のおかげで体重が減りました。25 歳になる娘が高校生の頃「父の夢は都幾ちゃんと一緒にカラオケに行くことなのだけど」と願うと「夢の実現はお父さんの体重が 70 kg 以下になった時だよ！」と言われました。当時 82 kg の私に夢の実現はムリと思われましたが、藤野に引っ越して愛用するやまなみ温泉の体重計目盛はなんと 66 kg。先日 10 年越しの夢を果たし、思い残すことは無くなりました。

息子との会話が増えたのも新しい出来事です。彼との確執は家庭崩壊の一因でしたが、就活をする息子と転職をする父と接点ができたのでしょう。冒探王 vol.11 の特別寄稿文の感想をくれたのは嬉しかったです。「とりあえず学生時代の冒険の思い出書けよ！」が第一印象。でも読み終えたらこの変な父の教員人生自体が冒険なのかと妙に納得しました」とありました。

紙数が尽きたので藤野倶楽部の農業の仕事は次号でお伝えします。



『INCH の楽しい仲間たち』 vol.7 その

佐野川エリアの茶畑にて→

『冒険探検粉塵記』

第 3 話 色恋のことども』

駄作者：文福洞先斗

連載に当たり、お断りしておきます。この冒険探検粉塵記はうらない作家、文福洞先斗の私小説風、虚実交ぜになったフィクションです。いたって誠実な半生の面白悲しさの真実を綴ります。

今やポンちゃんは売らない作家として無名になり始めた。先日、さる会合で自己紹介したら、ご婦人たちから、「うらないって大好き、是非占って下さい」と言われた。実は、小生はこっちの占いも好きだ。正月にはネット無料恋占いを必ず見ている。星座占いでは、蠍座は色恋にたけていると良い事としか書いてないので、年頭の励みになる。色恋こそは人生を彩り、操る重大事だ。最近、ついに『3 年の星占い蠍座』という本まで買ってしまった。

さて、ポンちゃんは幻の老舗和菓子屋文福洞三代目の若旦那だったかもしれない。若旦那は放蕩息子と相場が決まっているので、ポンちゃんも子どものころは恋多き人生を送っていた。なにせ、生母は四姉妹だったので、生まれた時から女性に囲まれていたのである。幼稚園の頃は近所の秋ちゃんや夏ちゃんとままごと遊びをしていた。小学校の頃も、勉学に励むことは微塵もなく、繁ちゃんや大川君らとつるんで、石垣に囲まれた自宅の樹上に砦を造り、近所の男児たちとのけんかに明け暮れ、片手間に庭石の中の結晶発掘や花壇づくりに興じていた。いまだ放蕩息子としてはおくてで、色恋にはあまり目覚めていなかったのだ。

ところが、初恋は中学校 3 年生の時に突然やってきた。パトラちゃんに巡り合ったのだ。恋は盲目だから、絶世の美女クレオパトラの再来かと想いを募らせたのである。本当はクレオパトラのような髪型であったので、パトラちゃんとも呼ばれていたのだ。彼女は活発でスポーツ好き、ポンちゃんは子どもの時から地味で、鈍くさいので、恋のライバルは親友の山崎君であった。彼はスポーツ万能で、クラス代表で水泳大会に出て、クラスの女子のあこがれの的になった。このため中学校での初恋は秘めたままにせざるをえなかった。しかし、山崎君は故あって、一年余り、名古屋に転校してきたが、卒業前、すぐに大阪に引っ越して行ってしまった。(注*名前などは仮のものです。)

ポンちゃんは高校に入ってラグビー部にはいったので、奥ゆかしくも、彼女の通う別の高校まで早朝トレーニングと称して走りに行っていた。ひそかな想いは募るばかりであったので、見るに見かねた親友の河田君が大いに気を利かせ、ポンちゃんのために、中学校の同窓会を明治村で開催してくれたのである。もちろん、パトラちゃんも参加していた。ボートにポンちゃんが一緒に乗って二人だけになり彼女に初恋を告白できるように取り計らってくれようとしたのである。と

ころが、河田君とカップちゃんはしとやか美人の岩山さんこそが、ポンちゃんのお目当てと勘違いして、ボートを池に漕ぎださせたのであった。高 1 同士で、二人ボートに乗るなんて経験は初めてで、ドキドキしながら、無口のポンちゃんはほとんど会話をしなかったのだろう。優しくも勘の鋭い岩山さんには、心の中をどうも察知されてしまったようだ。

ついに、意を決して、恋文をしたためたが、もちろん返事はない。一方的な想いを諦めきれずに、大胆にも、彼女の家に行き、面会を求めた。すると、パトラちゃんの兄貴が出てきて、高校 1 年生のポンちゃんに言った。「東大に入らない奴は人生の落伍者だ。東大生になってから、出直してこい」。兄貴は、桜山中学の先輩で、かなり優等生であったらしい。無粋なことに、恋路は邪魔されたのであり、初恋は陽の目すら見ないうちに、実に惨めな失恋に終わったのである。「豆腐の角で頭を打って…(穏当ではないので省略)」である。ポンちゃんはおバカだけれども、誇りは身の丈程度には高いので、恋路を邪魔した「東大」には決して入らないと、この時に受験教育と東大に対して終生の敵意を決意した。もちろん、信念を貫いて、実際にこの大学に入学しようと受験したことはない。ただし、長ずるに及んで、何人も友人・知人がいたので、大学構内には頻繁に入ってしまったが、…。

初恋は稔らないと言われているように、大失恋の顛末に至った。色恋が人生の重大事であることに目覚め、園芸部の先輩女子方に恋心を卑下するものではないと励まされた。もちろん、放蕩息子として色恋多き人生を送らねばならない運勢にあった。いくばくもしないうちに、ポンちゃんは新たな恋を得て、逞しく立ち直ったのである。まあ、「万事塞翁が馬」、人との出会いは行きがかりを大切に温めることかな。大失恋から学ばなければ、本当の恋愛が何か、考えもしなかった。人生で恋愛は美しい命だからね。

「命短し、恋せよ、乙女…(Gondola の唄)」、「妻をめとらば才たけて、みめ美しく情ある。友を選ばば書を読み、六分の俠気四分の熱…(人を恋うる歌)」などの歌の通りだ。若者だけでなく、人皆、美しい恋をせよ。明るく、純愛を育ててほしいね。ポンちゃんはどちらか言うと、私小説より白樺派が好きだからね。



大学ラグビー部のコンパ集合写真、この頃は精悍だったポンちゃんは後列左にいる。

○ 今後の活動予定のお知らせ (2015 年夏)

- | | | |
|----------|--|-----------------------------------|
| 6/6 | 劇団「鮭スペアレ」の小菅村公演 @小菅村箭弓神社(小菅村役場徒歩 3 分) | |
| 7/24~26 | のびと講座『源流での登山道整備』@甲武信小屋周辺 2泊3日 | |
| 7/30~8/5 | 冒険学校『こすげ冒険学校』@小菅村 6泊7日 | やまめキャンプ、いwanaキャンプの連続参加で2泊3日可能です!! |
| 8/8~9 | 冒険学校『やまめキャンプ』@小菅村 1泊2日 | |
| 8/9~10 | 冒険学校『いwanaキャンプ』@小菅村 1泊2日 | |
| 8/8~17 | のびと講座『タイ環境学習キャンプ』@タイ王国 9泊10日 | |
| 10/10~11 | 『第 35 回環境学習セミナー～環境学習の源流から未来へ』@小菅村
↑(自然文化誌研究会冒険探検部 40 周年記念企画です)↑ | |
| 10/11~12 | 『INCH まつり』～『INCH ライブ 2015』と『のびと講座きのこキャンプ』@小菅村 1泊2日 | |
| 11/14~15 | 『第 36 回環境学習セミナー～明日の小菅村を探る』@小菅村 | |

○ 事務局より

- 『現役の冒険探検部学生と協力して、冒険探検部の活動報告にあたる「冒探王 vol.11」を発行しました(6年ぶりのもよう)。関係者にはボチボチ送っていますが希望者いましたら連絡ください。毎週日曜日 18:30～テレビ朝日の「一から住」という番組で小菅村が放映中。そのうち俺出るかも?クロ』
- 『家の完成から半年が経ち、春を迎えました。畑を再開したど～!! はるこ』

○ 事務局の麗しき日々

- | | |
|-----------------------------|------------------------------------|
| ・まーしーが親になったもよう。おめでとう。 | ・匠が横浜で一人暮らしを始めたもよう。 |
| ・和田ちゃんが結婚するもよう。本人は沖縄生活なもよう。 | ・尚子は二児の母になったもよう。 |
| ・そして風馬は自動車デビューした。次は彼女できるかな? | ・未来はバスケット部の顧問になったが、ルールがまだ分からないもよう。 |
| ・たっくんが学芸大学に就職したもよう。 | ・稼ぎまくったクロはぎっくり腰になり、這って生活していたもよう。 |

○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか?

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NPO として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』『ELF 環境学習中堅指導者のびと研修会』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。



ナマステ 120 号

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、納入をお願い致します。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下 8 つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額（1～12 月）です。また、皆様からのご寄付も募っております。

正 会 員：10,000 円 一般会員：5,000 円

学生会員：3,000 円 賛助会員(個人・団体)：10,000 円

家族会員（一家族）：6,000 円 特別維持会員：100,000 円

植物と人々の博物館友の会会員：3,000 円

小菅村特別会員：1 口 1,000 円から

郵便振替口座：00100-2-665768

口座名：特定非営利活動法人自然文化誌研究会

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌

<発行日>2015 年 5 月 20 日

<編 集>自然文化誌研究会 事務局

<発 行>特定非営利活動法人

自然文化誌研究会

The Institute of Natural and Cultural History

<事務局>〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 3337-2

TEL：0428-87-0165

携 帯：090-3334-5328（黒澤）

E-mail：npo-inch@wine.plala.or.jp

H P： <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

ブログ：<http://npoinch.naturum.ne.jp/>

次回「ナマステ 121 号」は 9 月上旬の発行を予定しています。お楽しみに！！